

# 指導者級資格保持者アンケート 「試験官(採点)について」

2024年6月24日  
第10期指導者部会

# 指導者級資格保持者アンケート「試験官(採点)について」 実施概要①

- 指導者級資格保持者アンケート「試験官(採点)について」の実施概要は以下の通りです。

アンケート目的	<ul style="list-style-type: none"><li>指導者級の「試験官（採点）」経験の実態把握</li><li>実施機関からの試験結果の共有状況の確認</li><li>今後のもしもし検定の普及に向けた方策の検討</li></ul>
対象者	第1期～第33期 指導者級資格保持者
回答者数	194名
実施期間	2024年5月27日（月）～ 6月3日（月）
実施方法	Microsoft Forms による Webアンケート

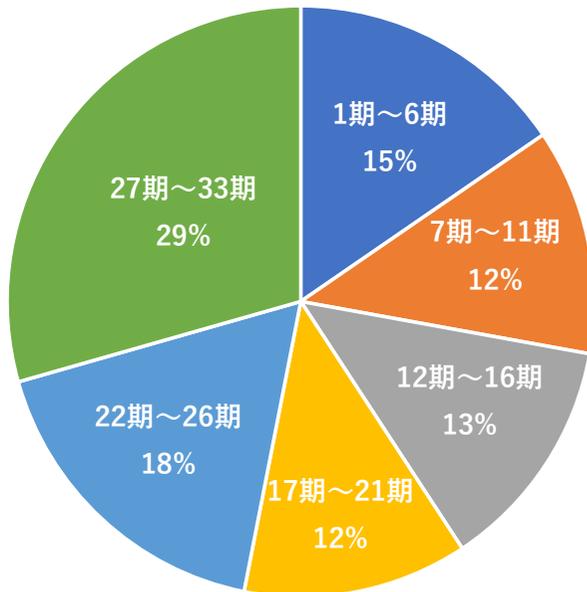
## 指導者級資格保持者アンケート「試験官(採点)について」 実施概要②

- 指導者級資格保持者アンケート「試験官(採点)について」の設問は以下の通りです。
  - ✓指導者級合格期
  - ✓都道府県（居住地）
  - ✓試験官(本部・実施機関)のおおよその経験回数
  - ✓実施機関の試験官経験有無
  - ✓依頼された実施機関からの試験結果（合否、点数）の共有有無
  - ✓受験者の合否の共有希望、及び、その理由
  - ✓2024年度の本部試験官の引き受け意向

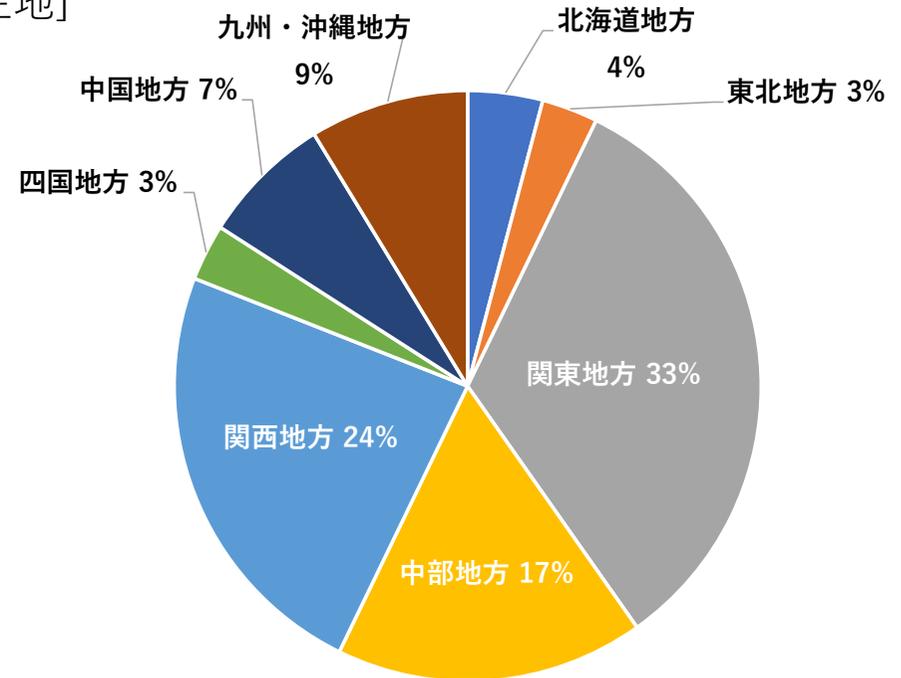
# 指導者級資格保持者アンケート「試験官(採点)について」 実施概要③

- 指導者級資格保持者アンケート「試験官(採点)について」の回答者の詳細は以下の通りです。

[合格期]



[居住地]



## 指導者級資格保持者アンケート「試験官(採点)について」 実施概要④

- 指導者級資格保持者アンケート「試験官(採点)について」の回答者の詳細は以下の通りです。

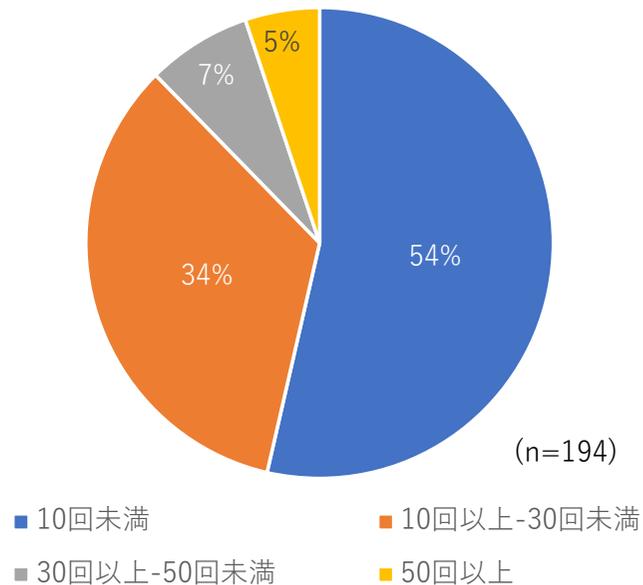
期	北海道 地方	東北地方	関東地方	中部地方	関西地方	四国地方	中国地方	九州・ 沖縄地方	計
1期～6期	2	3	11	5	4	0	2	3	30
7期～11期	1	2	9	6	4	0	1	1	24
12期～16期	1	1	10	4	2	4	2	1	25
17期～21期	3	0	6	8	5	0	2	0	24
22期～26期	1	0	10	5	9	0	4	5	34
27期～33期	0	0	18	5	22	2	3	7	57
計 (構成比)	8 (4%)	6 (3%)	64 (33%)	33 (17%)	46 (24%)	6 (3%)	14 (7%)	17 (9%)	194 (100%)

# 総括

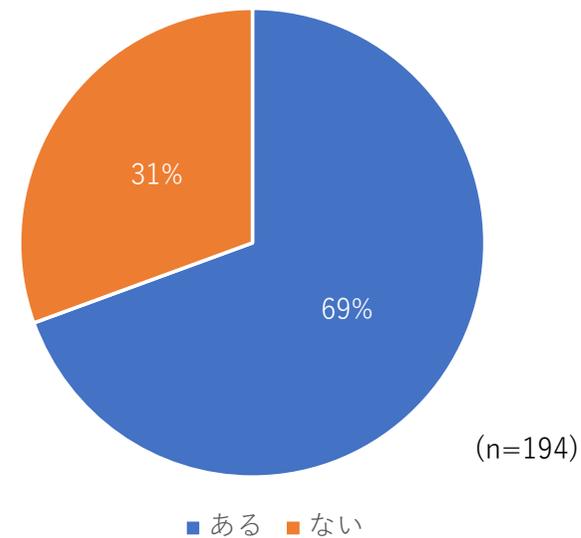
# 試験官の経験回数/実施機関の試験官経験有無

- 今回の回答者のうちの53%は試験官（本部・実施機関）の経験回数が「10回未満」。
- 実施機関の試験官経験が「ある」と回答したのは69%。

試験官(本部・実施機関)の  
おおよその経験回数



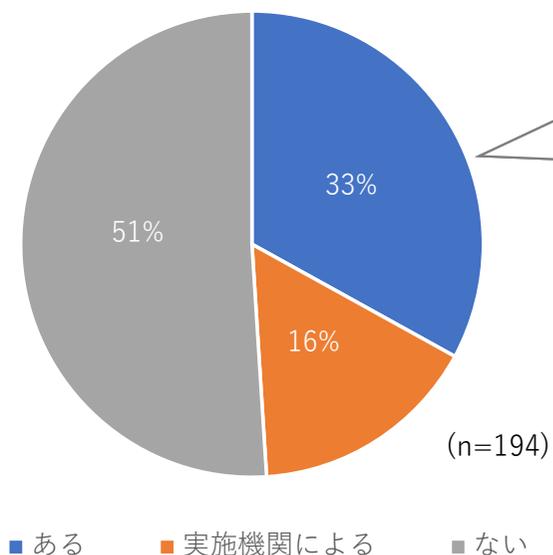
実施機関の試験官経験の有無



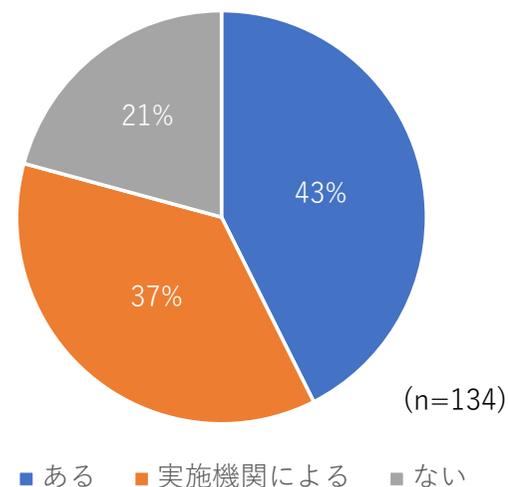
## 実施機関からの試験結果（合否、点数）の共有有無

- 今回の回答者のうち、実施機関からの試験結果（合否、点数）の共有が「ある」と回答したのは33%。
- 実施機関の試験官経験「あり」の回答者に限っても、試験結果（合否、点数）の共有があると回答したのは43%で、およそ2割は共有を受けていないことが確認できる。

実施機関からの  
試験結果(合否、点数)の共有有無



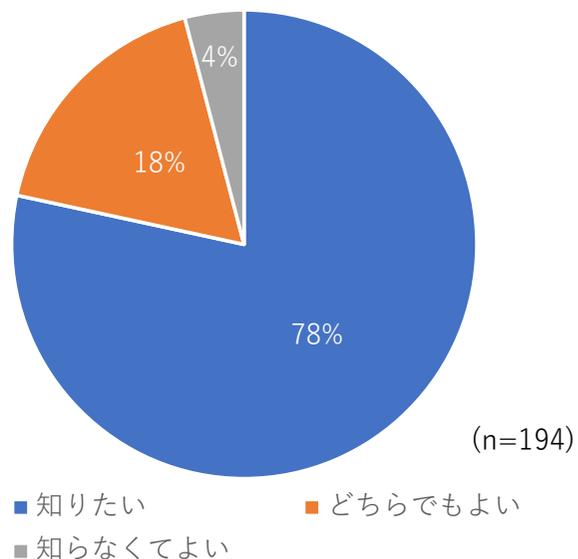
(実施機関の試験官経験「あり」の  
回答者のみ)



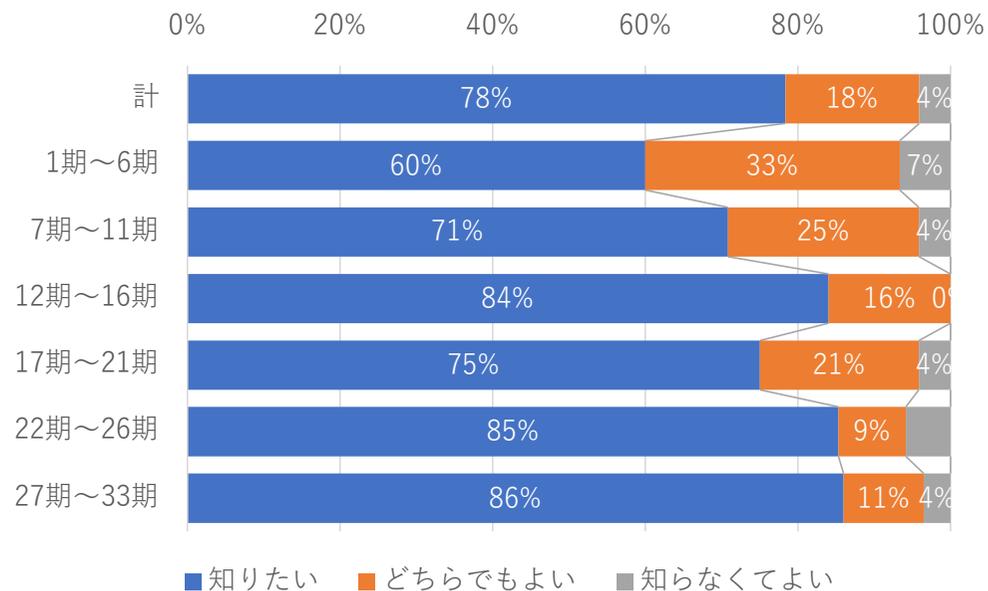
# 受験者の合否情報の共有希望

- 受験者の合否情報の共有を希望しているのは全体の78%。
- 指導者の期によってばらつきはあるが、いずれの期においても共有を希望する割合が高いことが確認できる。

受験者の合否情報の共有希望



受験者の合否情報の共有希望（期別）



# 受験者の合否、点数の共有を希望する理由

## 自身の採点基準の確認

- 自分の採点が適切であったかを把握したい。
- 自身の採点基準に対して、他の試験管の方との乖離がないか確認したい。
- 自分と他の試験官との基準の差を知ること、今後の採点に活かしたい。
- 他指導者との点差を把握することで自身の採点基準のブラッシュアップができ、採点品質の向上につながるから。

## 研修カリキュラムの品質向上

- その後の指導カリキュラム作成の参考にしたい。
- 今後の活動の参考になったり、受講生の点数を知る事でその受講生の理解レベルを知る事が出来、研修の進め方の改善に繋がる。
- 講座の結果として試験の合否によって、指導、講座の在り方を振り返る、見直すことができる。講座、指導のポイントが試験のポイントと合致しているか、合否、点数から考える必要あり。

## 合否結果の把握

- 指導した方の合否を知りたい。
- 自身が審査をした方は、最後まで結果を見届けたい。
- 採点の際、合否に迷った受験者がいた場合、他の試験官がどう判断されたのか参考にし、今後の採点に活かしたい。

## 合否・点数の共有を希望しない理由

- 音源を保管していないため、後に点数がわかったとしても役に立たない。
- 受験番号しかわからないので、受験者個人の結果までは知らなくても良い。
- 繰り返し聞き、熟慮した上での点数であり、自分の出した点数がベストであると考えている。

## 総括

- 今回のアンケートにおいて、試験官（本部・実施機関）の試験官経験が「10回未満」との回答者は54%。多くの指導者級が試験官経験を積めていないことが確認できる。
- 実施機関の試験官の経験があるとの回答者において、約2割は試験結果（合否、点数）の共有を受けていない。
- 今回の指導者級資格保持者アンケート「試験官(採点)について」において、「受験者の合否、点数の共有を希望する」との回答率は78%。いずれの期においても試験結果（合否、点数）の共有を希望する回答率は高く、一定のニーズが確認できる。
- 試験結果の共有を希望する主な理由は『他の試験官の採点結果を知りたい』『受験者の合否を知りたい』、及び『結果を今後の指導カリキュラムの参考にしたい』などとなっている。
- もしも検定のさらなる普及を目指すにあたっては、採点品質の向上とともに研修カリキュラムの充実が必須であり、指導者級への試験結果（合否、点数）の共有は、その一助になるものと考える。

2024年6月24日

第10期指導者部会

宮本真紀・江川不二子・澤直美・近藤美和・河原朗